

## 平成30年度第2回狭山市立博物館協議会会議録

開催日時 平成31年2月5日(火)午後2時00分から午後4時15分まで  
開催場所 狭山市立博物館会議室  
出席者 高橋光昭会長、白倉孝委員、濱田明美委員、高塚美也子委員、中西洋委員、  
小俣恵美子委員、三浦巴奈委員  
欠席者 高橋恵美子副会長、吉川克巳委員、細井弘子委員  
事務局 向野教育長、滝嶋生涯学習部長、田中社会教育課長、安井主査、吉田主任  
志水博物館長、入佐博物館副館長、アクティオ(株)植山次長  
傍聴者 0名

《狭山市立博物館管理規則第10条第2項、委員7名の出席により会議成立》

### 1 開会

### 2 あいさつ 教育長あいさつ

### 3 議事

#### (1) 報告事項

##### ① 平成30年度事業の中間報告と今後の予定について

現在までに実施した企画展・主催事業・協力事業と今後の予定について、博物館長より説明  
<意見・質疑応答内容>

委員： 3年前と比べると博物館らしくなっており、30年度は非常に改善されつつある。これか  
ら同じような姿勢で取り組んでもらいたい。

公募展では課題童句を設けたことがネックになったという話があったが、次年度も課題  
を設けるとしたならば、例えば31年度は「ネコライオン展」があるので「猫」か「ライオ  
ン」をテーマにすれば企画展に結び付き、また、その作品を企画展中に展示すると有意義  
ではないか。

館長が代わって、市内小学校全校が社会科見学として利用したが、なかなかできなかった  
ことなので、大変なご苦労だなと感じている。

委員： 企画展に対してパンフレットを作ったのがとてもありがたかった。また、吉田博展の内  
容と、図録を作成したのが良かった。

主催事業の企画も色々バラエティあって、民間信仰めぐりから化石採集、古文書も勉強  
させていただいて大人も楽しめる企画がたくさんあった。

子どもの工作教室で、持ち帰りのキットがあればいいと思う。

食堂では、春や秋に持ち帰れるお弁当があるといい。

委員： 吉田博展の版面はすごく良かった。どうしても美術的なものだとか学術的なものは、入  
館者数が伸び悩む傾向がある。それは博物館の宿命みたいなもの。入館者を増やさなくて  
はいけないといった単一思考ではなく、学術的なものを市民に安い入館料でもって提供す  
ることはたいへんありがたい。

鉄道展はある程度入館者を呼ぶが、博物館の前を走っていることから西武に限られてし  
まうのは否めない。なるべく夏は子どもたちが楽しめる企画展がいい。

##### ② 平成31年度事業計画(案)について

平成31年度予定する企画展・主催事業の内容について、博物館長より説明  
<意見・質疑応答内容>

委員： ご当地検定は継続が難しい事業で、受験者の確保が大きなテーマだろう。

館長： 当然そういう危惧はある。広く周知が必要、11月の狭山市の商工祭で表彰式を行う予定。  
商工祭の実行委員の理解が必要なので話し合いを進めている。

委員： ご当地検定は問題を歴史だけでなく産業や様々なところまで範囲に選んだほうが長続き  
するだろう。

委員： 「ざんねんな昆虫展」は昆虫の本物を展示しないのか。近隣の公園に「昆虫を探しにい  
こう」ができそう。自分の撮った昆虫の写真を「ネコライオン展」のように公募展示とマ  
ップにしたらどうか。

副館長：今は構想の段階だが、ざんねんな生き物辞典の解説とイラストと付随する実物の標本を展示する予定。生き物の展示は難しいので標本を展示する予定。関連事業として「昆虫を捕まえに行こう」はできるかもしれない。

委員：冬季企画展「刀剣の名作展」のことで、今、刀剣に興味を持つ若い世代の「刀剣女子」が取り上げられ、若い世代の女子になるべく来てもらいたいのであれば、広報の仕方、印刷物もああいう雰囲気（サブカルチャー的な雰囲気）の方がいいと思うが、どのような計画をしているか。

副館長：構想の段階だが、時代を捉えるのは必要と考えており、立ち上げ当初はサブカルチャー的なゲーム・アニメ系をまいまいホールで展開し、学識的なところを企画展示室と考えていたが、今はタイアップできる場所が見つからない。実際のキャラクターの刀がなければいけないなどの色々制約がある。

委員：アニメ関係は著作権関係の問題があるから多少難しいところがある。タイアップが出来ればいい。

館長：著作権の関係は難しい問題で、公立博物館の事業としてきちんとクリアしないといけないのできっちりしたい。

委員：まいまい体験のネコライオンポンポンはかわいく、人気が出そう。まいまい体験講座に来る方は固定されているか。内容は毎回変わるのか。

館長：まいまい体験講座も砂絵などいつもやっているものと、企画展に合わせた目玉商品とがある。参加者は小さいお子様が多く、リピーターも多い。

委員：刀剣に関しては、以前橋本瑠巴さんの刀剣企画展をやったことがある。

副館長：今回で言うと森井さんをメインにした。あまり手を広げず、森井さんのやりやすさを考えた。

委員：空調設備改修をやるとしたら何日かかるものか。

事務局：狭山市立博物館の空調設備改修計画は、機械の取替え、部品の組み立てはよそで行い、完成品をもって来る。交換工事期間は10日必要。空調が切れてしまっても収蔵品に影響がないような時期を考えている。

委員：秋期企画展が終わってから冬期企画展の間を目安にやっていただきたい。

委員：狭山市役所のサイトを見ていたら指定文化財や埋蔵品、民俗芸能等の資料、池原昭治の民話などの内容が充実している。比較すると博物館では、常設展示室の外廊下にその写真が展示されているが、展示室内の池原昭治さんの絵と連携していない。しかも写真のタイトルのみで説明もなされていない。展示の仕方の問題だが、今後展示に関して何らかの計画があるなら連携する方法を考えるとより幅広くなる感じた。

今回「笹井豊年足踊り」が実演されるが、まさに博物館の事業だと思う。以前弘前のねぶた会館に行ったとき、ねぶたの太鼓が一日中、時間を決めて演奏されていた。狭山では民俗文化財が11ほどあるが順次実演企画を立てていくとしたら、今回の足踊りの実演企画を進める段階でどのような課題や問題があったか聞かせてもらえると協議会にとっても参考になる。

委員：お囃子の実演は以前計画したことはあったが、ホールは笛の音等が上まで筒抜けで、一般来場者との関係で見送った。今は「博物館」の考え方も変わってきたのであまり抵抗なくやれるかもしれない。今回の足踊りは、仕組みが上からも見られてかえって博物館としてもよいのではないか。

副館長：博物館では無形文化財の人たちとの交流がないためコンタクトは、社会教育課にお願いしたが、諸般の事情で実現せず、最終的に足踊りにお願いすることになった。

委員：入間野小学校では、入曽獅子舞を門外不出だということだが、子ども達のために特別にやっていただいたが、確かに外でやってもらうのは大変だと感じた。

小学校の社会科見学について打合せ等行って丁寧にやって頂いていることはよくわかった。今後の要望だが、3年生だと自分の学校が狭山のどこにあるのか、自分の学校を中心にアケボノゾウが出たのがここだというような空間知がほしい。

平和資料館で出前事業をやってくれている。博物館の出前事業があれば6年生の縄文時代の学習ができる。実際に縄文土器などを持ってきてもらい触ったりできればよい勉強に

なる。今後開発してほしい。また、博物館には良い茶室があるので、掛け軸や茶花が掛けてあると雰囲気が出てよい。茶席の時はやっていると思うが、普段からあるとちょっと覗いたり、ホッとできる空間になってよい。

一番ここから近くで、見に行けるところ、出土したところはどこか？

副館長： 稲荷山公園に古墳が見つかったが、現在は埋め戻されて見る影もない。

委員： たとえばアケボノゾウの骨格が見つかったところに行く交通機関の案内や、ルートの案内などがあると、行ってみようと思うので良いと思う。

委員： 出土があるとしたら、入間川河岸段丘などになる。企画展で津南と狭山をやるのであれば狭山がどうなっているか見せるのもよい。柏原から笹井へ向けての高台の畑は大体あるのではないかと。掘るのであれば土地の所有者の了解を得る必要がある。

委員： 今掘っているところに募集して博物館から掘りにいったらよいのではないかと。

事務局： 社会教育課でも見学会等を行っている。連携を図りたい。

委員： 今回の新しい指定文化財の指定はいつになるか。津南と狭山の企画展後になってしまうか。

事務局： 3月に開催する文化財保護審議会で検討することになっているので手続き的には秋期企画展までには間に合う。

委員： 新指定の文化財は、発掘されたもの（下奥富）で縄文中期のものである。新しいものということで展示できれば良い。

館長： 空間知が必要というご意見に対してだが、社会科見学時に大きなものではないが、学校の位置を地図で示している。常設展示室の狭山の文化財の地図に学校名があるとより分かりやすい。参考にさせていただく。

6年生の縄文時代について、先生方に声かけしているが6年生は行事が多くなかなか出かけられないとのこと。当館には実際に手に取って触れられる縄文土器もあるので、要望があれば出前講座の対応ができる。ぜひ利用してもらいたい。

委員： 社会教育課が実施している文化財講習会とはどんなことをやっているのか。

事務局： 文化財の取り扱い方の講習会で、家の中で見つかったもの、タンスの中から思いがけず見つかった物などの身近な物、それらをどう扱ったら正しく飾れるか、どう扱えば正しくしまえるかなどをレクチャーしている。ひいては、そうしたことを通じて文化に触れてもらえればよい。今回教材に使っているのは博物館の収蔵品で、実際に、体験してもらっている。今後、2月9日と3月9日に行い、古本、和本の綴じ方なども触れる予定。

#### 4 閉会

##### 見学会

冬期企画展「わがまち狭山の平成展～出来事に見る30年の軌跡～」を見学

## 審議会の会議報告

会議名	平成 30 年度第 2 回狭山市立博物館協議会	傍聴者数 0 人 (報道 0 人)
開催日時	平成31年2月5日 午後 2 時 0 0 分から午後 3 時 3 0 分	
議 題	1 平成 30 年度事業の中間報告と今後の予定について 2 平成 31 年度事業計画 (案) について 3 その他	<input type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 <input type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 <input type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 .
会議の 内容要旨	1 平成 30 年度事業の中間報告と今後の予定について報告した。 2 平成 31 年度事業計画 (案) について説明した。	
提 出 資 料 名	1 平成 30 年度事業の中間報告と今後の予定 2 平成 31 年度事業計画 (案) 3 「平成展」パンフレット 4 「ネコライオン展」チラシ	
担 当	教育委員会 生涯学習部 社会教育課 文化財担当 内線 5 6 7 4	